

# 令和7年度 全国学力・学習状況調査 指導方法等の改善計画

呉市立明德中学校  
(明德中学校区)

全国平均値との差

	国語	数学
呉市教育振興基本計画〈指標〉	+5.0	+5.0
令和8年度	-	-
令和7年度	+3.7	+7.7
令和6年度	+8.9	+10.5
令和5年度	+13.2	+7.0
令和4年度	-8	-2.4

全国学力・学習状況調査の結果分析と今後の取組

◎・・・各学校 ◇・・・中学校区

<p><b>国語</b></p> <p>●---● 全国平均 ■---■ 県平均 ×---× 本校</p> <p>本校 <u>58.0%</u> 全国 <u>54.3%</u> 県 <u>55.0%</u></p> <p>言葉の特徴や使い方</p> <p>読むこと</p> <p>話すこと・聞くこと</p> <p>書くこと</p>	<p><b>重点課題</b></p> <p>◎自分の考えが明確になるように、論理の展開に注意して、話の構成を工夫することに課題がある。(設問2三)【話すこと・聞くこと】(正答率58.3%, 全国平均との差-15.1)</p> <p>◇話し合いの場で、話し手の考えと自分の考えを比較して、共通点や相違点を整理したり、聞き手の反応を踏まえながら自分の考えを分かりやすく伝えるよう工夫したりする力に課題がある。(小 設問1三(2), 中 設問2二)(正答率小50% 中66.7%)</p> <p><b>改善の方策</b></p> <p>◎話し合いやスピーチなどの「話す」活動の中で、自分の考えが明確に伝わるような論理の展開を考え、話の構成や順序をどのように工夫すれば、聞き手にとって理解しやすくなるかを考える場面を設定し、指導する。</p> <p>◇説明や提案・インタビュー・討論など、話す・聞く「相手」を意識して話す活動を充実させる。話し手としては、聞き手の反応を踏まえながら、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現や順序を工夫する学習活動を設定する。また、聞き手として、話し手の考えと自分の考えを比較したり、質問したりすることによって考えを深め、まとめる学習活動を設定する。</p> <p><b>検証</b></p> <p>◎全国学力(設問2三)の類似問題(第3学年, 2月)目標75%→83.3% 全国学力(設問2三)(第2学年, 2月)目標75%→85.7%</p> <p>◇全国学力【話すこと・聞くこと】(小 設問1三(2), 中 設問2二)(小 第5学年 2月, 中 第2学年 2月) 目標75%→71.4%</p>
<p><b>数学</b></p> <p>●---● 全国平均 ■---■ 県平均 ×---× 本校</p> <p>本校 <u>56.0%</u> 全国 <u>48.3%</u> 県 <u>47.0%</u></p> <p>数と式</p> <p>データの活用</p> <p>図形</p> <p>関数</p>	<p><b>重点課題</b></p> <p>◎式の意味を読みとり、成り立つ事柄を見だし、数学的な表現を用いて説明することに課題がある。(設問6(2))【数と式】(正答率16.7%, 全国平均との差-9.0)</p> <p>◇割合を用いた数量の関係を理解し、数量を数や文字式で表すことに課題がある。(小 設問4(4), 中 設問5)(正答率 小0%, 中33.3%)</p> <p><b>改善の方策</b></p> <p>◎数に関する事象を考察する文章を読み、その説明文が何を説明しているものなのかを読みとり、「○○は□□である。」という形で表現する場面を設定し、指導する。</p> <p>◇データを扱う学習において数量関係を説明する際、割合の考え方を用いて表現する活動を設定する。</p> <p><b>検証</b></p> <p>◎全国学力(設問6(2))の類似問題(第3学年, 2月)目標40%→40% 全国学力(設問6(2))(第2学年, 2月)目標40%→15%</p> <p>◇割合を用いた数量に関する問題(小 第6学年, 2月, 中 第3学年, 2月) 目標60%→42% 全国学力(小 設問4(4), 中 設問5)(小 第5学年, 2月, 中 第2学年, 2月) 目標60%→43%</p>

【来年度に向けて】

今後も学力調査等をもとに生徒の学習状況を把握し、個々の課題に応じた取組を行うとともに、「めいとく・トライ」を軸にした指導方法の改善に努め、課題の解決を図る。また、国語科の【話すこと・聞くこと】や、数学科の【数と式】等、調査対象教科で明らかになった課題については、課題が関連するその他の教科等の中でも取り組み、課題解決に向けて組織的な取組を進める。